週間感染症情報

2026年43週～45週　2026年10月19日より2026年11月8日まで

	43週	44週	45週
麻疹			
風疹			
水痘（みずぼうそう）		1	1
ﾑﾝﾌﾟｽ（おたふくかぜ）			
百日咳			
溶連菌感染症	3	6	3
手足口病	1	1	
ﾍﾙﾊﾟﾝｷﾞｰﾅ	2	5	3
伝染性紅斑			1
感染性胃腸炎	18	17	18
ロタウイルス(再掲)			
ノロウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)			
突発性発疹	1	2	1
伝染性膿痂疹（とびひ）	1	3	2
ヘルペス性口内炎	1		
ｱﾃﾞﾉｳｲﾙｽ感染症	1	3	3
RSウイルス感染症	1		1
マイコプラスマ感染症	4	1	6
ヒトメタニューモウイルス			
インフルエンザ	71	58	104
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞA	63	55	83
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞA+B			1
新型コロナウイルス感染症	4	6	4

遅くなりましたが3週間分の報告です。右下のグラフのように、インフルエンザAの報告が増えています。教育委員会からの報告も増加し、市内の小学校、幼稚園で学級閉鎖が出ています。保育所などでもクラス内の感染があります。今後、家族内感染を介して市内での本格的流行になっていくと予想されます。いつも言っていますが、クラスに一人インフルエンザの患者が出ると、数日後に周囲の5−6人、1週間でクラスの半数がり患し、2週間でクラス内の流行は終息します。

中学校では部活動、小学校では学童、幼稚園・保育所では早朝や居残り保育で、感染が施設内へ拡大して行きます。体調不良の場合は無理せずゆっく休みましょう。新型コロナウイルス感染症の報告は少ないです。しかし、高齢者施設での集団感染の報告があり、亡くなる方も出ています。安心できません。

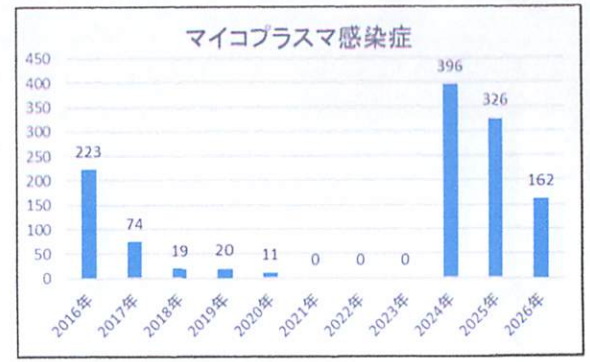
インフルエンザと新型コロナのワクチン接種が始まっています。

軽症化したり、入院を予防する効果があります。早めに接種しましょう。

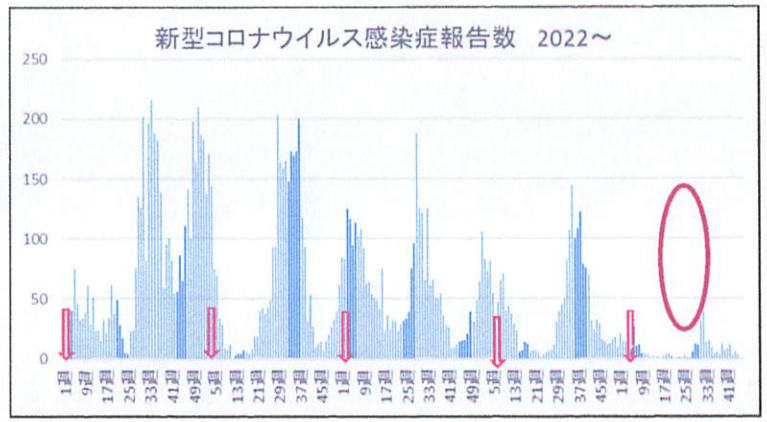
右のグラフはマイコプラズマ感染症の2016年からの報告数です。

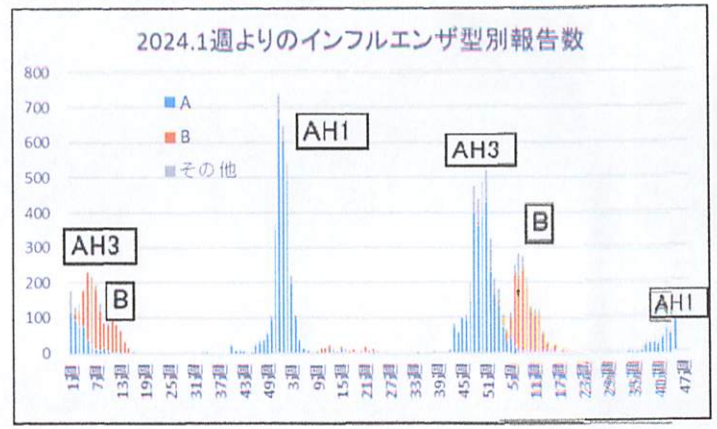
減少しましたが、だらだらと報告が続いています。長引く咳と、発熱はマイコプラズマ肺炎の鑑別にする必要があります。

夏の感染症の、ヘルパンギーナの報告が増えています。



熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。 手洗い・換気に努めて下さい。





（感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。　http://miyakenaika.com ）

三宅内科小児科医院　三宅真砂子